

**史跡垣ノ島遺跡
デジタルコンテンツ等整備業務
プロポーザル実施要項**

資料集

令和4年1月

**函館市教育委員会
生涯学習部文化財課**

1 史跡垣ノ島遺跡の基本情報

所在地 函館市臼尻町4 1 6 番地4ほか4 8 筆

面積 9 2, 7 4 9 m² (全筆函館市所有)

史跡概要 縄文時代早期前半から後期後半にかけての集落遺跡。定住開始期の段階で居住域と墓域が分離し、その後の約6千年間の長期にわたる人類の定住を顕著に示す。さらには、長さ190mを超える国内最大級の盛り土遺構や、墓から出土した副葬品の足形付土版、竪穴建物から出土した儀礼に伴う特殊な土器など、当時の高い技術や精神性を示す貴重な遺構や遺物が数多く発見されている。

公開開始日 令和3年7月28日(世界遺産登録決定日の翌日)

供用時間 4～10月：9時から17時

11～3月：9時から16時

休場日 12月29日～1月3日

入場料 無料(定時解説および発掘体験も無料)

運営体制 業務委託(史跡大船遺跡と併せて管理委託)

※委託者 一般財団法人道南歴史文化振興財団

(縄文文化交流センターの指定管理者)

整備概要 遺構整備：盛り土遺構、竪穴建物群

公開・活用：入口ゲート、展望デッキ、エントランス広場、芝生広場、
体験広場(土器焼き・発掘体験施設、体験棟)、園路

管理・便益：多目的スペース、管理棟、ベンチ、柵

案内・解説：総合案内板、案内標識、立体模型、標柱、解説板、記名サイン

植生保全：伐採(植林による人工種)、保護・植栽(縄文由来の在来種)

2 定時解説

期間 4月～10月の毎日(11月～3月および団体での利用については応相談)

回数 1日3回(10時～・13時～・15時～、各回45分程度)

申込等 事前予約不要(希望者は時間までに展望デッキに集合)

料金 無料

行程 ①展望デッキ(集合場所)→②エントランス広場→③体験広場→④竪穴建物群→⑤
盛り土遺構(開口部)→⑥盛り土遺構(小丘部 丘状遺構)→⑦盛り土遺構(接合部 道
状遺構)→⑧盛り土遺構(北東盛り土部)→⑨管理棟前(終点・解散)

内容 ①展望デッキ(集合場所)

・導入：自己紹介、所要時間、ルートおよび注意事項等の説明

・概要(縄文全般)：解説板(縄文時代の垣ノ島遺跡)や復元土器(複製)などを用い、
年代観、特徴(自然との共生、豊かな精神文化など)、世界遺産、

世界史での位置付け等, 主に縄文時代全般の説明
遺跡全体を眺望

②エントランス広場

- ・史跡名称等：標柱を用い、史跡名、史跡指定年月日、使用石材(安山岩)等の説明
写真撮影スポットとしても紹介
- ・概要(垣ノ島遺跡)：総合案内板を用い、帰属年代、指定年月日、指定面積や理由、
主な出土遺物等、垣ノ島遺跡の説明
- ・施設案内：案内図を用い、現在地や施設配置、本日の解説ルート等の説明
- ・立地環境：立体模型を用い、遺跡の立地する台地や、川や海、山といった周辺地
形など、遺跡が継続した背景にある豊かな自然環境等の説明
- ・世界遺産：世界遺産共通サインを用い、世界遺産の概要や世界遺産としての価値
や位置づけ、ロゴマークの意味等の説明

③体験広場

- ・竪穴建物跡：遺構復元箇所において、発掘調査時の検出状況や、床面や柱、屋根
など一般的な住居構造等の説明
- ・発掘体験：ここで体験できる“発掘体験”の説明
- ・植生復元：植林による人工種を伐採し、縄文由来の在来種を保護することで、縄
文の植生や景観復元への取り組みの説明

④竪穴建物群

- ・窪み：解説板(窪みで残る竪穴建物跡)を用い、埋まりきらず今もなお窪みで残る
理由や良好な保存状態、群立する分布状況等の説明
- ・規模：窪みへ誘導しその中心から全体を眺めることで、その規模を体感

⑤盛り土遺構(開口部)

- ・盛り土遺構概要：解説板(盛り土遺構)を用い、一般的な盛り土遺構の概要および
垣ノ島遺跡の盛り土遺構の特徴(全体形状、国内最大級の規模、
帰属年代、記念物としての意味等)の説明

⑥盛り土遺構(小丘部 丘状遺構)

- ・特別な空間：解説板(丘状遺構)を用い、検出遺構や出土遺物など発掘調査の成果
からわかった、祭祀儀礼の中心となる場であったことの説明

⑦盛り土遺構(接合部 道状遺構)

- ・道の機能：解説板(道状遺構)を用い、土層や検出遺構など発掘調査の成果からわ
かった、道としての機能や柱状構造物の存在の示唆等の説明
- ・全体構造：解説板(道状遺構)を用い、各部の位置関係から、方角を意識して意図
的につくられた全体配置の説明

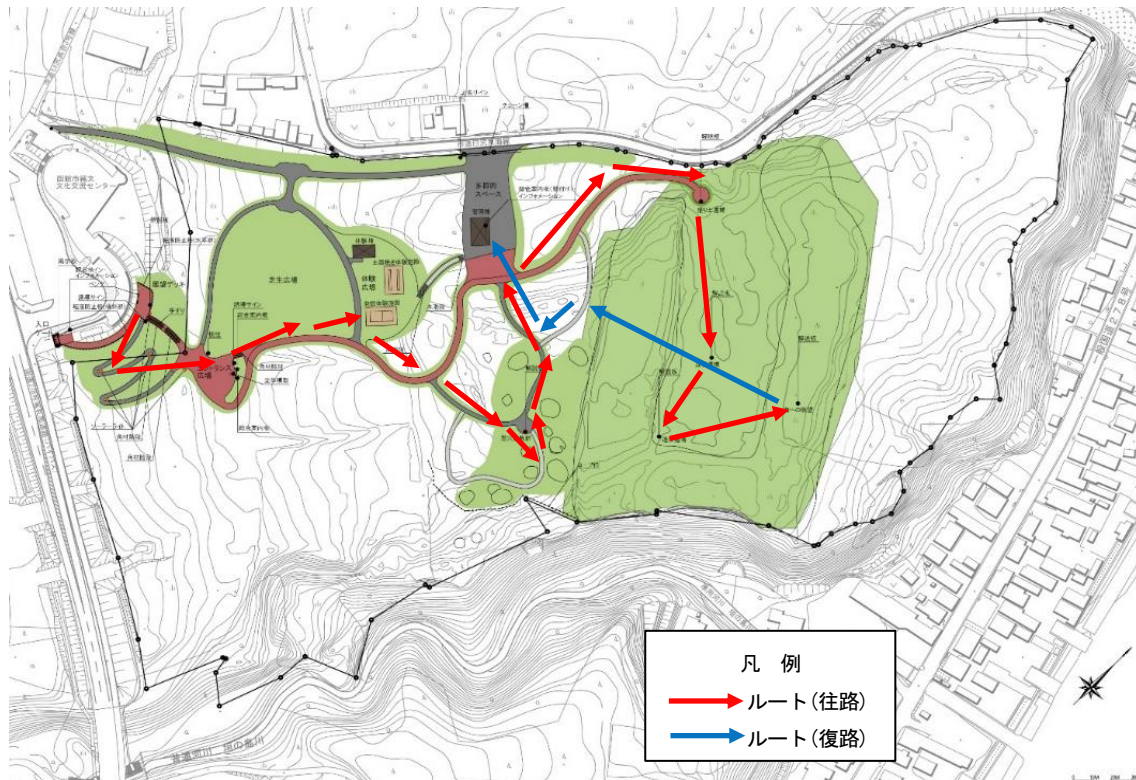
⑧盛り土遺構（北東盛り土部）

- ・オン・ショウ・ビュウ：解説板(海への眺望)を用い、現在に受け継がれる、縄文文化を育んだ豊かな自然環境や生業（漁業）等の説明

“ここからは今でも縄文人が見ていたものと同じ景色を見ることができる”

⑨管理棟前（終点・解散）

- ・まとめ：史跡の保存を第一義にし、概ね掘削行為を行わず、また復元物に頼らず、縄文当時の地形を最大限活かした整備手法
史跡大船遺跡や縄文文化交流センターの紹介，利用促進



定時解説ルート図



解説の様子

3 発掘体験

期 間 4月～10月の毎日（11月～3月および団体での利用については応相談）

回 数 1日2回（11時～・14時～，各回30分程度）

申込等 事前予約不要（希望者は体験棟で受付を済ませたのち，体験棟に集合）

料 金 無料

行 程 ①管理棟（受付）→②体験棟（集合場所）→③発掘体験施設→④体験棟（解散）

内 容 ①管理棟

- ・受付：管理棟スタッフによる受付，ネームプレートの交付

②体験棟（集合場所）

- ・導入：自己紹介，所要時間，スケジュール等の説明
- ・概要：ホワイトボードおよび使用器材を用い，発掘調査の目的や作業手順，使用器材とその具体の使用方法，各作業の意味や注意事項などを説明

※各自事前にセットされた発掘調査道具一式を受け取り，次の③へ移動

（合わせて，使い捨てゴム手袋や靴用のビニールカバーを配布）

③発掘体験施設

- ・実践：あらかじめ水糸により定められた区画（50×50cm）の範囲内において，土の掘り方や運び方，道具の使い方，土器や石器が見つかった際の取り扱いなど，実際に発掘作業を行いながら，随時指導

※実際に垣ノ島遺跡から出土した本物の遺物を使用

※1回あたり20名程度が同時に体験可能

※各自使用した発掘調査道具一式および出土した遺物を持って，次の④へ移動

④体験棟（解散）

- ・まとめ：自ら掘り出した土器や石器を観察し，ホワイトボードに掲示した遺物名とその説明が記されたシートを参考に，土器の文様や部位，石器の加工痕跡や用途，帰属時期などについて，考察

※遺物は回収するため，各自で写真撮影することで記録を持ち帰る



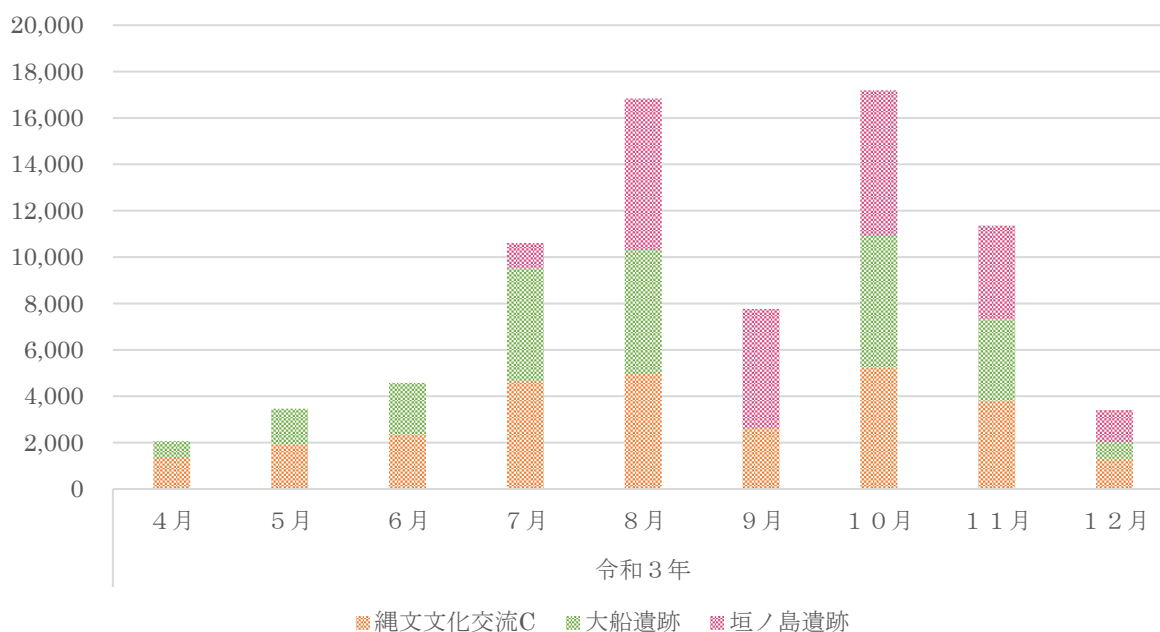
発掘体験の様子

4 来場者数

令和3年度縄文関係施設来場者数

施設名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
縄文文化交流センター	1,339	1,921	2,357	4,653	5,004	2,625	5,241	3,815	1,300	28,255
大船遺跡	724	1,541	2,217	4,848	5,297	0	5,672	3,500	722	24,521
垣ノ島遺跡	—	—	—	1,105	6,540	5,139	6,281	4,042	1,389	24,496

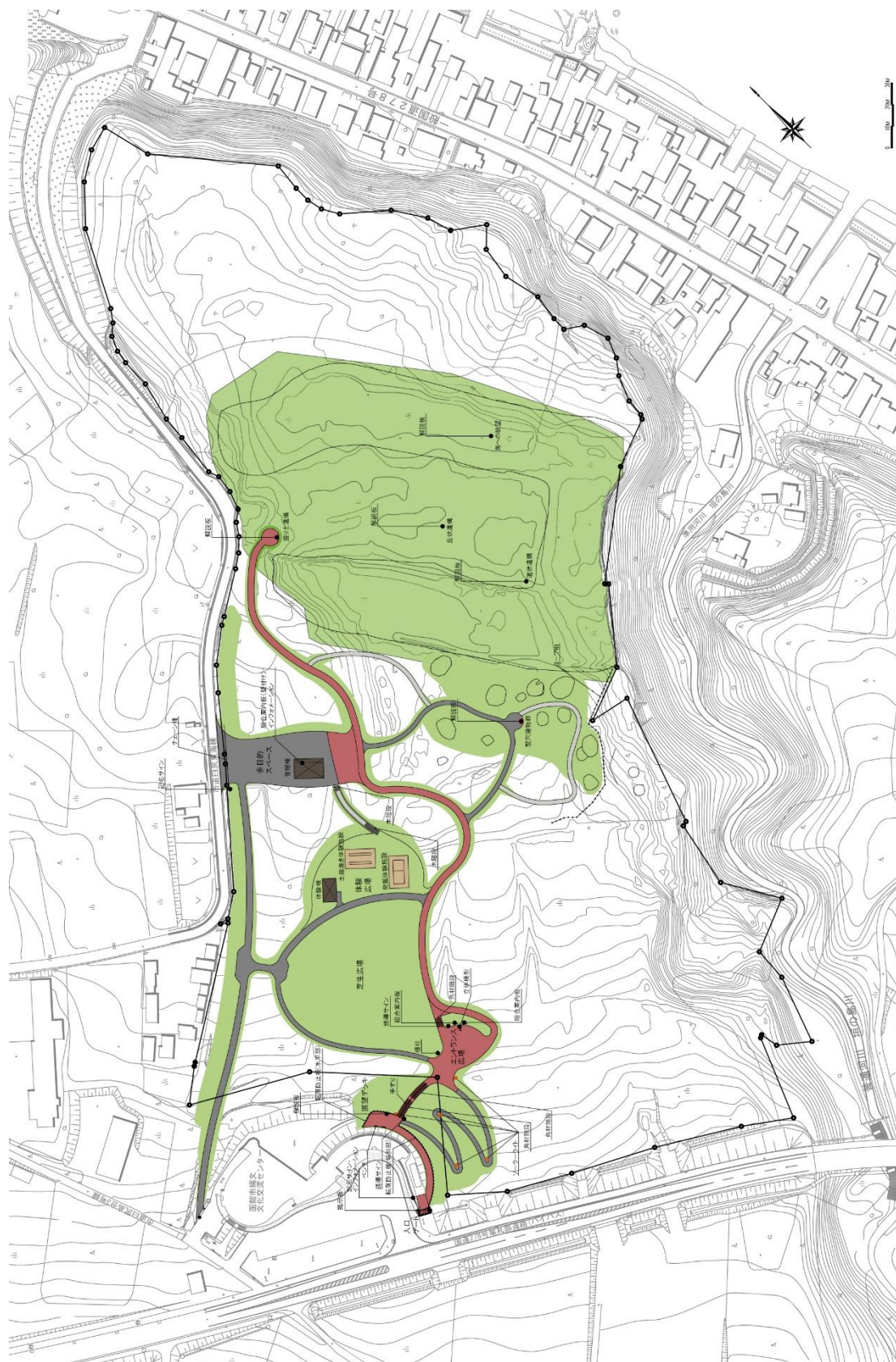
令和3年12月末現在



註) 大船遺跡：クマの目撃情報があったため、8/30～9/30の期間は閉鎖
 垣ノ島遺跡：7/28より、一般公開を開始

5 関係図面

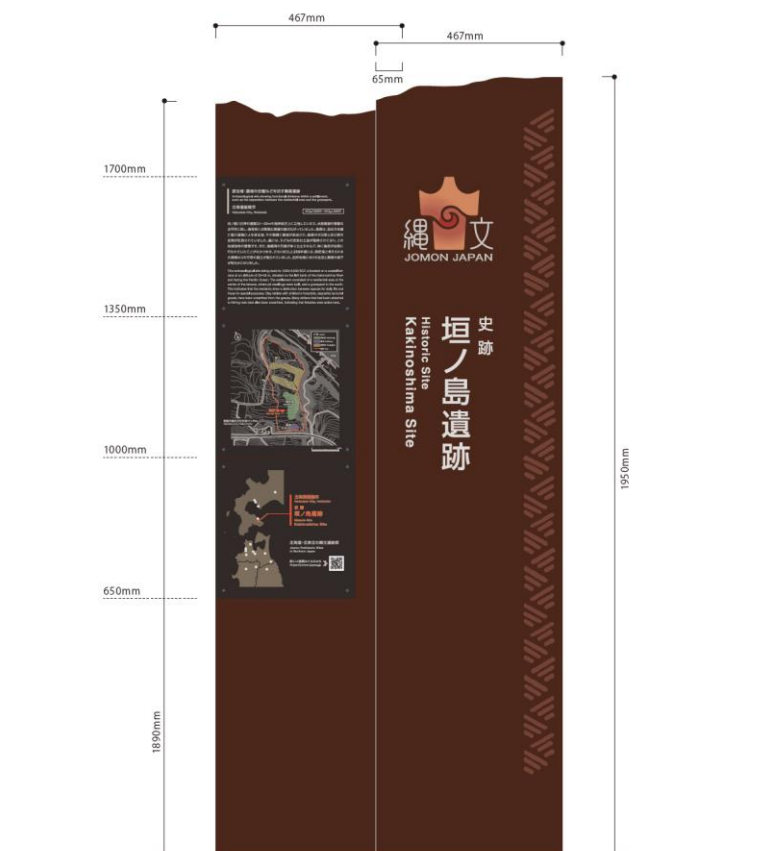
(1) 整備平面図

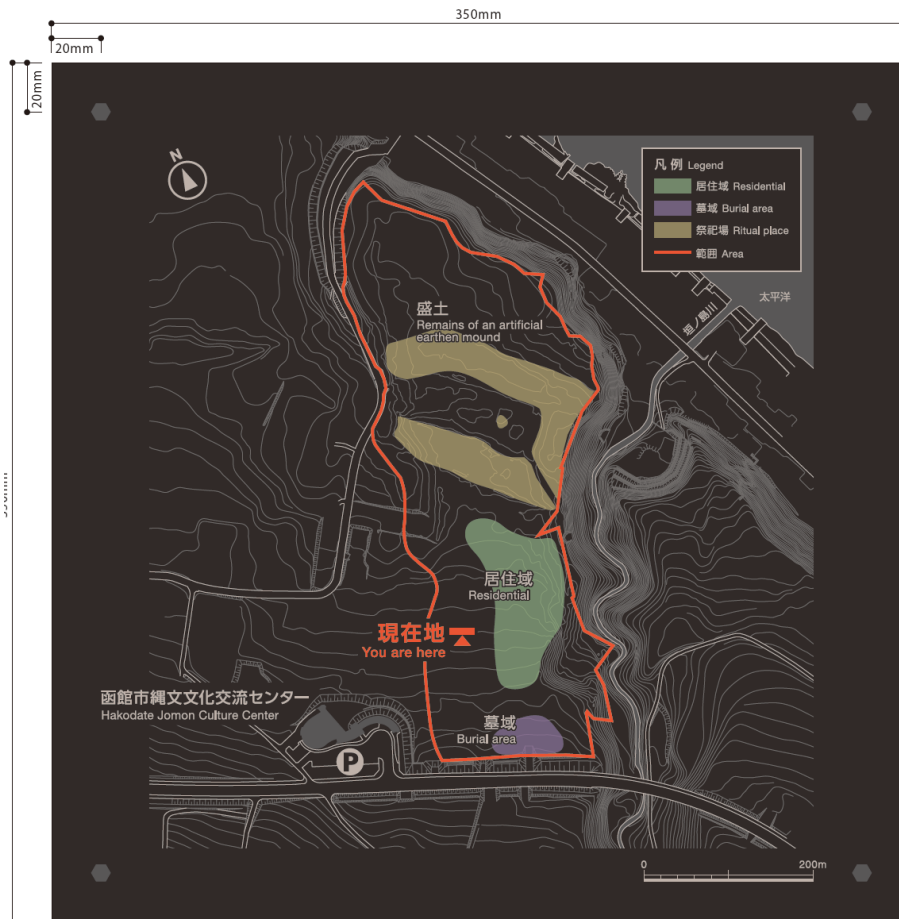


※施設の詳細については、「史跡垣ノ島遺跡保存整備事業報告書」を参照のこと。

(4) 北海道・北東北の縄文遺跡群 共通サイン

設置位置：エントランス広場





6 関連資料等

●公式ホームページ

- 世界遺産「北海道・北東北の縄文遺跡群」（函館市）

<https://www.city.hakodate.hokkaido.jp/docs/2017122200063>

- 世界遺産 北海道・北東北の縄文遺跡群（縄文遺跡群世界遺産登録推進事務局）

<https://jomon-japan.jp>

●関連計画，報告書等

- 函館市南茅部縄文遺跡群整備基本構想

https://www.city.hakodate.hokkaido.jp/docs/2017122200117/files/2006minamikayabe_kousou.pdf

- 史跡垣ノ島遺跡保存管理計画

https://www.city.hakodate.hokkaido.jp/docs/2017122200117/files/2015kakinoshima_kanri.pdf

- 史跡垣ノ島遺跡保存整備基本計画

https://www.city.hakodate.hokkaido.jp/docs/2017122200117/files/2016kakinoshima_seibi.pdf

- 史跡垣ノ島遺跡保存整備事業報告書

https://www.city.hakodate.hokkaido.jp/docs/2017122200117/files/2021kakinoshima_seibihoukoku1.pdf

https://www.city.hakodate.hokkaido.jp/docs/2017122200117/files/2021kakinoshima_seibihoukoku2.pdf

- 垣ノ島遺跡発掘調査事業報告書（平成 20・21 年度）

https://www.city.hakodate.hokkaido.jp/docs/2017122200117/files/2010kakinoshima_houkokusho.pdf

- 史跡垣ノ島遺跡発掘調査事業総括報告書（平成 25～28 年度）

https://www.city.hakodate.hokkaido.jp/docs/2017122200117/files/kakinoshima_soukatuhoukokusho.pdf

○縄文遺跡群の世界文化遺産登録による効果促進施策のあり方

https://www.city.hakodate.hokkaido.jp/docs/2020070100071/files/jomon_arikata.pdf

○函館市景観計画

<https://www.city.hakodate.hokkaido.jp/docs/2014031300013/files/keikankeikaku.pdf>

●主な縄文関係刊行物

【函館市の刊行物】

○垣ノ島遺跡・大船遺跡リーフレット

https://www.city.hakodate.hokkaido.jp/docs/2020060200033/files/kakinoshima_ofune_leaflet_kaitei.pdf

○函館市縄文文化交流センターリーフレット

https://www.city.hakodate.hokkaido.jp/docs/2020060200033/files/hjcc-leaflet_jp.pdf

https://www.city.hakodate.hokkaido.jp/docs/2020060200033/files/hjcc-leaflet_en.pdf

【縄文遺跡群世界遺産登録推進本部の刊行物】

○北海道・北東北の縄文遺跡群

https://www.city.hakodate.hokkaido.jp/docs/2020060200033/files/jomon-leaflet2020_jp.pdf

https://www.city.hakodate.hokkaido.jp/docs/2020060200033/files/jomon-leaflet2020_en.pdf

○北海道・北東北の縄文遺跡群リーフレットシリーズ 史跡垣ノ島遺跡

https://www.city.hakodate.hokkaido.jp/docs/2020060200033/files/jomon-leaflet2020_kakinoshima.pdf